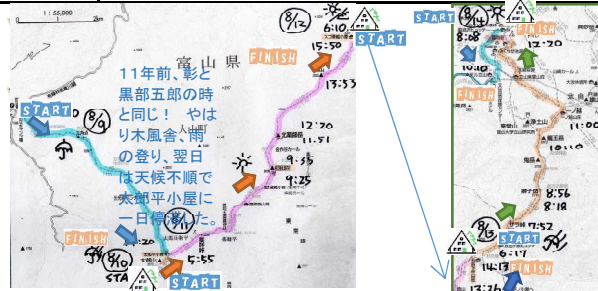


山番号	山名 (別名) 蝦夷富士	登頂順	標高M
49	立山	7/100	3,015
登頂年月日	山頂天候	年齢	山中宿泊小屋
1973.8.13		27	8/13剣御前小屋
昭和48年			
メンバー	8/12夜行「雷鳥3号」で立山⇒室堂		
単独	複数	ガイド	ツアー
夫婦登山	8/14室堂よりアルペンルートで大町經由松本、旅館泊		
同時登山	別々登頂	立山三山	
コース	8/13室堂9:50⇒雄山⇒主峰大汝山⇒18:15剣御前小屋		
タイム	8/14小屋7:40⇒剣御前岳往復9:45⇒14:40室堂		
交通手段	往路:8/12JR	現地:8/13JR、富山地	復路:8/14アルペンル
		方鉄道、ケーブル、バス	ト、JR松本、8/15JR

新婚早々、夫婦初めての縦走登山の初日は室堂から雄山を経て剣御前小屋までの長丁場。登り下りの繰り返しと二人のペースが合わないのとで共にヘトヘトになった。小屋での夕食後早々に床に入り熟睡したが、朝起きたら超満員になっていてビックリした。翌朝、食後剣御前岳を往復して室堂に下った。芳恵は馴れない登山だったが膝痛を押してよく附いて来てくれた。野山の自然観察には一緒によく参加してきたが、もともと運動系には関心を持たない彼女、若し山好きになっていたらその後の私の山登りがどうなっていたか…。



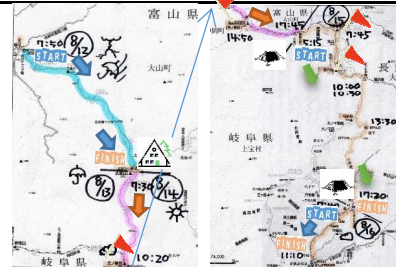
山番号	山名 (別名)	登頂順	標高M
50	薬師岳	77/100	2,972
登頂年月日	山頂天候	年齢	山中宿泊小屋
2009.8.11		63	8/9、10太郎平小屋8/11スゴ乗越小屋 8/12五色ヶ原山荘 8/13雷鳥荘
平成21年			
メンバー	主催	木風舎 五色ヶ原山荘で一緒になった藤木氏は飲み仲間、大丸の外商出身。70代の現役ガイドで知られた人だ	
単独	複数	ガイド	ツアー
	人数	8/8富山前アルファイン前泊 8/9 富山駅集合、TAXIで折立終、登山開始 8/10太郎平小屋で天候回復待ち。	
	男4女3	山田氏	
コース	8/9 13:50折立発⇒15:00太郎平小屋<歩行6:00標高差975m>		
	8/11 太郎平小屋5:55⇒9:25薬師岳9:35⇒15:30スゴ乗越小屋		
	8/12 小屋7:15⇒越中沢岳⇒鷲山⇒14:13五色ヶ原山荘		
	8/13 小屋6:17⇒獅子岳、鬼岳、龍王岳、一ノ越⇒12:20雷鳥荘		
	8/14 雷鳥荘⇒室堂散策⇒12:34富山駅で解散12:34⇒17:07京都		



8/10台風接近で太郎平小屋停滞したが、8/11は晴れて薬師岳の頂上に立てた。8/12五色ヶ原山荘で逆ルートから到着の藤木氏の山友グループ4人と予想通り合流した。8/13皆雷鳥荘の温泉で汗を流した。後日この時の有志と新宿で会った。残念な事にその内の愉快だった一人がその後自から命を絶ったそう。手紙や写真を送ってくれた小金井の男性、唯一山の悲しい思い出。

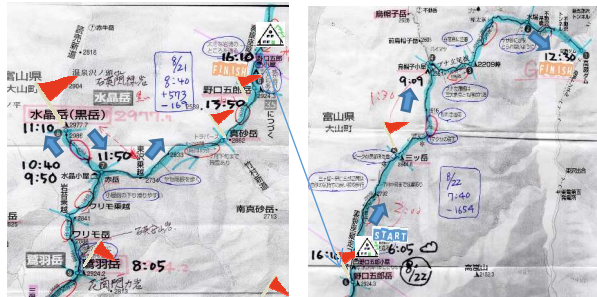
山番号	山名 (別名)	登頂順	標高M
51	黒部五郎岳	29/100	2,840
登頂年月日	山頂天候	年齢	山中宿泊小屋
1998.8.14		52	8/12.13太郎平小屋2泊 8/14黒部五郎小屋テント泊、8/15わさび平テント泊
平成10年			
メンバー	主催	木風舎 彰と3年振りの縦走登山。大雨と雷、更には地震、落石、山肌崩壊の厳しい洗礼を浴びた山行となつ	
単独	複数	ガイド	ツアー
	人数	山田氏 男4女7	
同時縦走登頂	北の俣岳、三俣蓮華岳、双六岳		
コース	8/11 サンダーバードで富山⇒称名の滝⇒富山ワシントンH		
	8/12 富山駅集合⇒折立7:50⇒大雨と雷⇒太郎平小屋		
	8/13 荒天のため太郎平小屋延泊		
	8/14 7:30⇒北の俣岳⇒14:50黒部五郎岳⇒17:45五郎小屋、テント泊		
	8/15 5:15⇒三俣蓮華岳⇒双六岳⇒17:20わさび平小屋、テント泊、地震		
	8/16 未明にも地震7:40⇒新穂高温泉⇒高山でステーキで栄養補給		

彰と荒天と地震の厳しい山行を経験した。太郎平小屋への登りは雷雨でヒヤヒヤだった。新しい登山靴もズクズク。8/14夕方2回の強い地震 8/15



はわさび平のテント内で地鳴りを伴う振動を大地からダイレクトに体感した。この地震と大雨で山岳各地で多大の被害が発生した。8/16キャンプ場を出発すると崖崩れで登山道が寸断しヒヤヒヤの通過。キャンプ客の車が巨大な岩でぺしゃんこに。今回は自然の脅威を実感した登山だった。2日分を1日で縦走して二人とも膝痛。テント場で不注意で足の親指裂傷のおまけも有った。

山番号	山名 (別名)	登頂順	標高M
52	水晶岳	91/100	2,839
登頂年月日		山頂天候	年齢
2011.8.21 平成23年			65
山中宿泊小屋			
8/19 鏡平山荘 8/20 三俣山荘 8/21 野口五郎小屋			
メンバー	主催	アルプスエンタープライズ	
単独	複数	ガイド	人数
		勝野氏	16
鷹羽岳と同じ日に登頂する雨続きの4日間、裏銀座縦走コース。			
同時縦走登頂 双六岳、三俣蓮華岳、鷹羽岳、野口五郎岳			
コース	8/18~21 鷹羽岳からの続き		
	8/21 小屋5:00⇒8:05鷹羽岳⇒10:10水晶岳⇒野口五郎岳⇒16:小屋野口五郎小屋6:05⇒高帽子小屋⇒12:30裏銀座登山口⇒高瀬△		
	8/22 大町温泉で⇒信濃大町15:05⇒松本、名古屋、京都		



(つづき)いっそ、その場で鞍替えしたい思ってた。リーダーや顔なじみを重視してツアー企画会社を決めている人も多い。私の場合は行き先と日程が限定されるため多くの会社のツアーから選んで参加している。かつての様な個人ガイドに数人で参加するスタイルが最高だが、事故や補償への対応力に限界が有り廃れたのは残念だ。

山番号	山名 (別名)	登頂順	標高M
53	鷹羽岳	90/100	2,924
登頂年月日		山頂天候	年齢
2011.8.21 平成23年			65
山中宿泊小屋			
8/19 鏡平山荘 8/20 三俣山荘 8/21 野口五郎小屋			
メンバー	主催	アルプスエンタープライズ	
単独	複数	ガイド	人数
		勝野氏	16
水晶岳と同じ日に登頂する雨続きの4日間、裏銀座縦走コース。			
同時縦走登頂 双六岳、三俣蓮華岳、水晶岳、野口五郎岳			
コース	8/18 午前のHWバスで松本へ。松本城、旧開智子学校を見学。		
	8/19 松本駅集合⇒新穂高温泉12:50⇒小池新道⇒17:30鏡平小屋		
	8/20 小屋6:30⇒山田隊とすれ違う11:30三俣蓮華岳⇒12:230三俣小屋		
	8/21 小屋5:00⇒8:05鷹羽岳⇒10:10水晶岳⇒野口五郎岳⇒16:小屋		
	8/21~22 以降は水晶岳に続く		



今回は大小10座の裏銀座縦走である。19日の鏡平山荘は木の香りのする新しい別館、すいていて快適だった。女性の登山が増えて山小屋の寝具や料理、トイレが随分良くなったが、設備や装備、デザインやサービスは順次欧州の山小屋のレベルに近付けてくれるとありがたい。20日、弓折乗越から双六小屋に向かう途中で雲ノ平に向かう木風舎の山田さんのパーティーと狭い道ですれ違った。今回は満席で参加できなかったが、どこかで出会うことを期待していたところ、山田さんが気づいてくれて感激の握手。薬師岳の時のメンバー数人とも再会した。(つづく)

山番号	山名 (別名)	登頂順	標高M
54	槍ヶ岳	25/100	3,180
登頂年月日		山頂天候	年齢
1997.9.22 平成9年			51
山中宿泊小屋			
9/20 燕山荘、 9/21 ヒュッテ西岳、 9/22 槍沢ロッジ			
メンバー	主催	個人ガイド	
単独	複数	ガイド	人数
		山内勝雄氏	男4
北アルプスのシンボル槍ヶ岳を目指し、中年男4人がガイドについて表銀座、東鎌尾根をたどる。			
同時縦走登頂 9/20燕山岳、9/21大天井岳、西岳			
コース	9/20 中房△6:35⇒9:50合戦小屋10:30⇒12:00燕山荘、燕岳往復		
	9/21 燕山荘6:45⇒12:20大天井岳、ヒュッテ12:45⇒15:15ヒュッテ西岳		
	9/22 ヒュッテ6:15⇒殺生ヒュッテ⇒11:47槍ヶ岳頂上⇒16:58槍沢ロッジ		
	9/23 ロッジ6:30⇒7:55横尾⇒上高地13:10TAXI14:35松本、解散		
交通手段	往路:9/19 JRひかり、 9/20穂高TAXI	現地: 9/20穂高TAXI中 房△、9/23TAXI松本	復路:9/24JR松本⇒下 諏訪、岡谷⇒しなの、ひ



初日は中房温泉から日本三大急登の合戦尾根をたどり、燕岳に登った。二日目は右手に槍の穂先を見ながらの表銀座を縦走。右半身だけ日焼けした。3日目に狭い槍の頂上に立ち、感動の万歳、ガスに包まれたが皆で達成感に浸った。ところで今回のガイドは山男臭い髭男。普段は鳶職で山でも靴以外は鳶職姿。飲兵衛で持参の目刺しを焼いて皆に振舞いながらの山の経験談がやたらと面白い。ガイドも色々で、寡黙だが技術指導に熱心なタイプやサービス精神旺盛で女性に人気の美男タイプ、キャンプは嬉しい料理人タイプ、男性をザイルでつないで引っ張る頼もしい女性ガイド等々。